



## 自己紹介

大淵由貴（おおぶちゆき）1988年東京都江戸川区出身。千葉大学法経学部総合政策学科卒。大学時代は環境NGOの活動に従事、また休学してバンクーバーでワーホリを経験。卒業後、電機メーカーで5年間営業を勤め、会社を退職して青年海外協力隊としてマダガスカルで活動中。

## アボカドジュース

マダガスカルではアボカドを生産していて、現在旬を迎えています。日本では醤油をかけて食べたり、サラダや巻物に入れたりして楽しんでいますね。こちらでは、砂糖をまぶして食べるのが一般的です。「アボカドはデザート」だそう。先日、砂糖入りアボカドジュースを飲みましたが、冷えていると意外とさっぱりしていて美味しく飲みました。



## 他地域・他職種の隊員とコラボ企画

### ～モリンガ講習、小学校で協力隊員活動紹介DAY～

今月は任地アンズズルベに他地域の隊員が7人も訪れました！同じマダガスカル隊員とはいえ、職種や地域によって活動内容は全く違います。アンズズルベの人々に新しいことを学んでもらい、隊員同士もお互いの活動を見る良い機会となりました。

### ＜モリンガ講習会（モリンガ説明、ケーキ・クッキー作り）@農村＞

モリンガという栄養満点の植物（木）があります。ビタミン、カルシウム、タンパク質などあらゆる栄養素が豊富に含まれています。アンズズルベではモリンガ栽培をしている農家さんにはまだ会ったことがなかったので、先輩隊員の提案で講習会（モリンガの栽培方法や特徴の説明、ケーキ・クッキー作り）を開催しました。講習会の最後には種もプレゼントしたので、これから栽培に取り組んでくれるよう促したいと思います。木が少し大きくなるまでは、乾季が寒いアンズズルベでは少し心配もありますが、上手く成長すると、葉っぱをおかずにしたり、粉末を販売することも可能です。



モリンガクッキーの形成方法を教える隊員



布を使って茹でた大豆から豆乳を搾り出す様子（上）子どもたちに体操を教える様子（下）

### ＜協力隊員活動DAY@小学校＞

マダガスカルの学校は現在イースター休暇中（2週間程度）です。理解ある先生の協力のもと、休み中の学校に全校生徒50名程と保護者を集め、各隊員の活動を紹介するプログラムを同任地隊員が企画してくれました。休暇中にも関わらず先生も積極的にプログラム（下記表参照）のお手伝いをしてくださいました。国道沿いでバスを降り、そこから歩いて40分ほどかかる田舎の小学校。そこに日本人が7人も集まったので、子どもたちにとっても印象的な日になったのではと思います。（私の小学校にはそんな日はなかった！笑）プログラムの内容は下記の表をご参照下さい。

| 概要      | 内容  | 目的                                       | 職種       |
|---------|---|--|----------|
| 大豆料理講習会 | ・豆乳、豆乳シチュー<br>・おからケーキ作り                       | 肉の購入が難しく、タンパク質が不足しがちな農村でタンパク質を摂取する料理法の普及 | コミュニティ開発 |
| 手洗い啓発   | ・手洗いダンスと歌<br>・手洗いの実践                          | 歌と踊りを通して、手洗いの理由とタイミングの理解促進               | 小学校教育    |
| 体操      | ・全身を動かす体操                                     | 体育の授業では校庭を走る回るだけのことがほとんどのため、身体を動かす方法の紹介  | 体育       |
| 算数の授業   | ・簡単に作れる道具を使った算数の授業                            | 板書が中心の算数の授業で、子どもの集中力や理解力を高める工夫の紹介        | 小学校教育    |
| 命の授業    | ・赤ちゃんがお腹の中で成長する話<br>・分娩の映像<br>・「うまれる」がテーマの紙芝居 | 命の尊さや出産の大変さを伝え、家族や友達、周囲の人の大切さへの気付きを与える   | 助産師      |